

歯周病が全身の 病気を招く



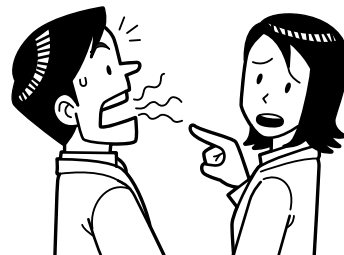
☆ 歯周病とは

歯の表面につくプラーク：歯垢（細菌の塊）によって起こる「歯の周りの病気」です。（歯垢と関係がない〈非プラーク性〉の歯周病もあります）

歯周病の初期では、自覚症状がないため気付かない人が多くみられますが、成人の約80%が歯周病にかかっているといわれています。

☆ 主な症状

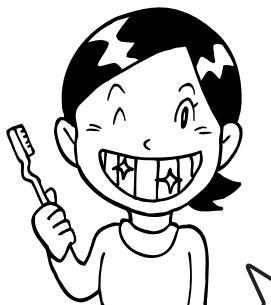
- 歯ぐきが腫れる
- 歯ぐきから血や膿（うみ）が出る
- 口臭
- 歯がグラグラする など



プラークに含まれている歯周病菌（細菌）は、歯ぐきや歯根周辺の血管から全身に広がり、全身の血管で炎症を引き起こします。

☆歯周病が引き起こす病気

- 感染性心内膜炎
- 狭心症・心筋梗塞
- 脳梗塞
- 誤嚥性肺炎
- 早産・低体重出産 など



歯周病は、歯を失うだけでなく、
重大な病気の原因の一つになります。

歯周病は早めに治療をしましょう。

夜、寝る前に10分ほどかけて、
歯を丁寧に磨くことが歯周病予防に
効果的です。

口の中を清潔に保ち、全身の病気にな
る危険性を最小限に抑えましょう！